

アセンション日記

愛って何だろう？

アリマ

「愛って何だろう？」

スタートはそこから。様々なアセンション関連の本を読んだが、最終的には、自分が変わること。これが至上命題であるという結論に行き着いていた。

愛について探究していくうちに、大きな安らぎの愛に包まれていることを思い出したり、清らかで、情熱的で、張り裂けんばかりの愛が自分のハートから溢れだすのを体験したりした。常に自分は冷静だと思っていたが、涙が止まらなかった。

原因と結果の法則。つまり、愛の法則。人は愛になるために生まれてきた。とても説得力があった。アミの本を読んだときは、愛のある世界に感動を覚えた。

自分の思いは伝わる。人々へ、地球へ、宇宙へ。だから、ワクワクすることは大切。そう思い、常にワクワクの状態であることを試みていた。

しかし、社会人生活における意見の対立や、そこから派生した人間関係のほつ

れから、ワクワクの継続が出来なかった。ワクワクしよう、相手を受け入れようと努めても、自分のわだかまりの感情を抑えることが出来なかった。

そのような状態が長い間続いたが、あるとき、気づきがあった。2012年の大きな気づきであった。それは、無意識に持っている執着がワクワクを妨げているという事。頭で考えずに、ハートで考えることを地道に続けていた成果だと思う。

ハートを開き、相手をハートで包み込むことで自分の持つ執着に気付いた。そして、その執着を遠くから眺めることが出来た。つまり、執着を捨てた。あらゆる価値観はニュートラルであるという感覚があった。そうなることで、自然体で相手を受け入れることが出来た。身体の中で、腑に落ちた感覚があった。

世界が変わった。世界から執着が消えた。目の前の世界は、自分が創り出していること、何度も繰り返し起こる現象は、重要なメッセージを含んでおり、気づきを促しているということを体験した。

ワクワクすること、愛と光になること。これは、生まれてきた目的。本来の自分の願い。また、必ずそうなること。この思いがゆるぎない確信に変わっていった。

